

TAKE  
FREE

| 埼玉県小川町プロモーションブック |

Saitama

# OGAWA

OGAWA TOWN PROMOTION BOOK



OGAWA  
6S  
COMMITMENT

小川町SDGs  
まち×ひと  
プロジェクト

Slow / Story / Social / Sustainable / Safety / Small



## CONTENTS

町の魅力を支える人にインタビュー！  
七夕まつりで聞いた！小川町の魅力アンケート  
小川町SDGsまち×ひとプロジェクトとは？

埼玉県小川町の魅力を探ったら  
とにかく「人」が面白かった

INTERVIEW

この6人に  
聞いてみた！

INTERVIEW



## 埼玉県小川町の 魅力を探ったら とにかく「人」が 面白かった

埼玉県のほぼ中央に位置する小川町。豊かな自然と歴史を誇り、世界有数の有機の里としても知られています。

そんな小川町の魅力を「伝統産業」「酒」「食」「有機農業」「暮らし」「里山保全」の6つのテーマから探ってみました。

そこから見えてきた、町の魅力。

それは、町に関わる人々の「町への想い」や「人と人とのつながり」によって、生み出されているということ。

この冊子を通して、小川町の魅力を支える「人」のバックグラウンドを知り、町をめぐっていただけたら嬉しいです。

| 小川町SDGsまち×ひとプロジェクト シティプロモーション実行委員会 |



SAITAMA OGAWA  
OGAWA TOWN PROMOTION BOOK



## 町の魅力を支える人にインタビュー！

埼玉県小川町の魅力である「伝統産業」「酒」「食」「有機農業」「暮らし」「里山保全」。この6つのテーマに関わる人たちに、テーマと絡めた町への想いを聞いてみました。

01



伝統産業

久保製紙・紙すきの村  
久保 孝正さん・奈々さん

02



酒

麦雑穀工房  
鈴木 等さん・由実子さん

03



食

有機野菜食堂わらしべ  
山下 嘉彦さん・由美子さん

04



有機農業

風の丘ファーム  
田下 隆一さん

05



暮らし

小川まちやど  
高橋 かのさん

06



里山保全

カタクリとニリンソウの会  
田端 龍一さん

さらに詳しく！

P16 セタまつりで聞いた！小川町の魅力アンケート

P18 小川町SDGsまち×ひとプロジェクトとは？

OGAWA TOWN PROMOTION BOOK

# theme 01

## 伝統産業



久保製紙・紙すきの村  
5代目

久保 孝正さん

久保 奈々さん

## 和紙の伝統を未来に繋ぐ 和紙愛に溢れています

SINCE 1913



### 和紙をもっと生活の中に 溶け込むモノへ

創業は大正2年、109年続く久保製紙さんは、1300年の歴史をもつと言われている手漉きの「小川和紙」を製造、販売しています。

現在は、5代目の久保孝正さんが奥様の奈々さんと共に、頑張っているらしいです。国道254沿いに店舗、ギャラリーを兼ねた「紙すきの村」があります。その裏手に工房があり、孝正さんと1名の職人さんで紙漉きや染めなどを行い、店舗では奥様が販売・接客をしています。

店舗の裏と工房の隣には、桑の葉に似た楮の畑があり、楮の生産技術伝承のためにボランティアさんと共に楮の栽培から皮は

ぎ、原料づくりまでを毎年行っています。店舗内中央には、思わず手にしたくなるパステルカラーの可愛い祝儀袋やポチ袋が並び、左手には、和紙を使った作家さんの購入できる作品が並んでいます。奥には、書や日本画など様々に使える沢山の種類の和紙、ちぎり絵などに使われる美しい染の和紙など、紙好きにはたまらないラインナップが揃っています。驚くことに、これらの多彩な商品のほぼ全てを自社で製作されているそうです。

紙漉きだけに終わらず、染めや商品加工もご家族でされており、奥様の「紙もの」が大好きという『紙愛』とファッション販売の経験が商品に活かされています。

さらに、店頭でのお客様の声を聴いて、紙の風合い、厚み、繊維の出方、ちぎれ具合

など様々な工夫を皆で話し合っ、商品をつくっているそうです。

民芸的な和紙の印象を、もっともっと生活の中に溶け込むモノにしたいそうです。和紙のもつ優しさ、強さ、しなやかさ、心地よい手触りに“今”を感じるカラーを取り入れ、かつ使い勝手もいい素敵な商品に思わず「かわいい!」、「カッコイイ」と言いたくなりました。

産まれた時から和紙を漉く音や香が身近にあった孝正さんは、ごくごく自然に継承したそうです。それ故に伝統をつなぐ難しさも楽しさも、危機感も人一倍感じているようです。小川町の伝統を繋いでいくため、チームワークで伝統の“和紙”と革新の“WASHI”を日々生み出し続けています。

ライター/きみえさん

### 問い合わせ先

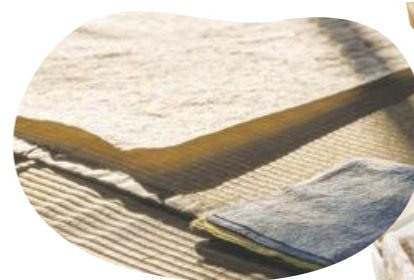
久保製紙・紙すきの村  
TEL 0493-72-2919 (店舗)  
0493-72-0436 (工房)  
〒355-0321  
埼玉県比企郡小川町小川1091



紙好きさんにはたまらない!  
品揃え豊富な和紙を販売中



伝統の“和紙”と革新の“WASHI”を、これからも。



OGAWA WASHI

つながる  
人の輪

### 久保さんの結びつき



PROFILE

5代続く手漉き和紙職人の5代目として小川町で生まれ育った孝正さん。大学卒業後に家業を継ぎ和紙職人へ。40代の若手後継者。2010年に孝正さんと結婚された奈々さんは、当初ファッションの販売をしていたが、2017年前から店舗での販売と和紙の商品企画と製作を担当。夫婦二人三脚で「伝統と革新」に挑み続けている。